

第 8 期埼玉県障害者支援計画の策定に向けた重点課題の 検討に関する論点例

1 理解を深め、権利を護る（A チーム）

- 障害者差別解消法、埼玉県共生社会づくり条例の認知度が低く、障害と合理的配慮の提供について理解が進んでいない。
- 精神科病院に入院している患者への虐待、施設や学校、家庭など様々な場所で発生する障害児者への虐待が後を絶たない。障害児者への虐待防止と権利擁護の一層の推進を図る。
- 彩の国いろどりライブラリーの継続的運用に関する課題
 - ・ 障害当事者講師の新規登録と講師の質の確保
 - ・ 身体障害以外の障害種別の当事者講師のあり方
 - ・ 県教育局との連携のあり方
 - ・ 障害者施策推進協議会の構成団体の役割 など

2 地域生活を充実し、社会参加を支援する（B チーム）

- 入所施設や精神科病院からの地域移行の促進
- 入所施設の整備促進、入所待機者の解消及び入所者の高齢化・重度化への対応
- 短期入所の整備促進
- グループホームの整備促進、重度障害者の利用への対応、質の向上への対応
- ホームヘルパーや相談支援員をはじめとする福祉の担い手の人材不足、処遇の改善
- 障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法などに基づく情報保障と意思疎通支援の推進
- 障害者のデジタルディバイドへの対応と IT 機器を利活用できるようにするための支援の実施

3 就労を進める（Bチーム）

- 行政機関及び民間事業者における雇用率向上
- 在職中に中途障害となった者への支援

4 共に育ち、共に学ぶ教育を推進する（Cチーム）

- 特別支援学校の整備と学習環境の充実
- 障害のある児童生徒も通常の学級で共に学ぶことの必要性

5 安心・安全な環境をつくる（Cチーム）

- 音響式信号機、誘導ブロック、歩行空間、駅のエレベーターやホームドアの整備、公共施設や大型店舗のバリアフリー化の推進
- 福祉避難所とその運営体制の確保
- 避難所におけるバリアフリー化などの促進